

令和元年度第2回岩国医療圏地域医療構想調整会議 議事概要  
(第2回岩国圏域保健医療対策協議会)

【日時】 令和2年2月13日(木) 14:00～15:30

【場所】 岩国総合庁舎1階 入札室

【出席者】 出席者名簿のとおり

- 第2回病床機能検討部会協議結果の報告を行い、有床診療所の2025プランについて調整会議としての合意を得た。
- 地域医療構想の実現に向けた国の動向について説明を行った。
- 地域医療構想の達成に向けた公立・公的医療機関等の対応方針について協議し、現時点で提出されている2025プランについて調整会議として合意した。
- 山口県医師確保計画(素案)及び山口県外来医療計画(素案)について説明を行った。

【議事内容】

1 第2回病床機能検討部会における協議について

資料1-1及び1-2により、事務局から第2回病床機能検討部会の概要報告を行い、有床診療所の2025プランについて、調整会議としての合意を得た。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

2 地域医療構想の実現に向けた国の動向について

医療政策課から、資料2-1～2-3、資料3-1及び3-2により、「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について」及び「重点支援区域の申請について」の説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

3 地域医療構想の達成に向けた医療機関の対応方針の決定について

資料4-1及び4-2により、岩国市立美和病院及び岩国市医療センター医師会病院の2025プランの修正等の協議を行い、現時点で提出されている本圏域の2025プランについて、調整会議としての合意を得た。

(主な意見・質問等)

- 再検証の対象となっている美和病院と錦中央病院の現状医師数では、それぞれが病院として維持し続けることは難しいと思われるため、市が主導して有床診療所への転換も検討すべきではないか。  
⇒ 市立の病院、診療所も含め、玖北地域全体の医療提供体制については、令和2年度中に様々な要素を踏まえてシミュレーションを行い、その結果等を当調整会議で説明していきたい。

#### 4 山口県医師確保計画(素案)について

資料5-1及び5-2により、医療政策課から「山口県医師確保計画(素案)」について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 勤務医と開業医とでは平均年齢が大きく異なり、開業医は特に将来を見据え高齢化の問題を考えなければならない。
- 上記に加え、高度急性期を担う病院と開業医やへき地の病院では、医療機関(医師)として担う役割が異なるため、それぞれを分けてもう少し詳細に検討すべきである。

#### 5 山口県外来医療計画(素案)について

資料6-1及び6-2により、医療政策課から「山口県外来医療計画(素案)」について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 診療所が中心市街地に偏ることは、交通の便の良い所に開業するため止むを得ない所もあるが、地域での分布も考えて、開業の調整を行政とともに考えて行く必要がある。
- 民間医療機関での医療機器の共同利用について、責任の所在や費用分担に係る調整等は、県又は保健所が行うのか。  
⇒ 県において統一的基準を示すことはなく、個々での調整をお願いすることとなる。